MICRO CADAM Helix

セキュリティー機能

貴社の図面は守られていますか？
大切な図面が盗難や過失によって流出してしまってからでは手遅れです

● MICRO CADAM Helix のセキュリティー機能

MICRO CADAM Helixでは、貴社の大切な資産を保護するための2つのセキュリティー機能を標準装備しています。

1）図面の流出を防止する《図面流出防止機能》

2）図面の機密性を高める《セキュリティー・コード機能》

1）図面の流出を防止する《図面流出防止機能》

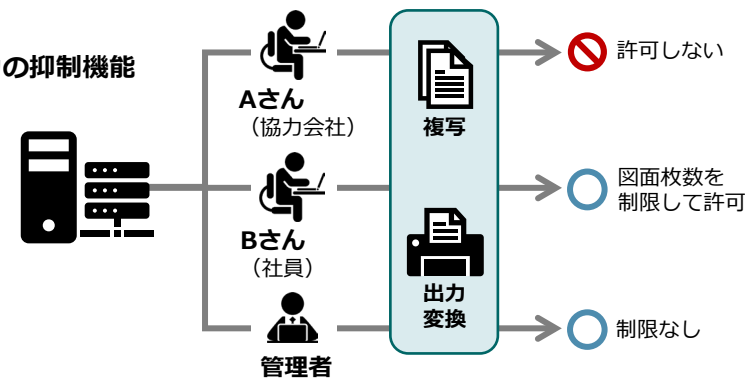
図面の流出を防止するため、利用できる記録媒体を抑制する機能です。
MICRO CADAM Helixには、ユーザーIDごとに図面へのアクセス権を細かに設定するプリビリッジ機能がありますが、それに加えて図面の盗難や過失による流出を未然に防ぐセキュリティー機能を搭載しています。

◆ ローカル・ドライブ／リムーバブルディスクへの図面保存禁止機能

指定したローカル・ドライブやリムーバブルディスクなどへの図面の保存を禁止します。
これにより、図面が外部に持ち出されることを防ぎます。

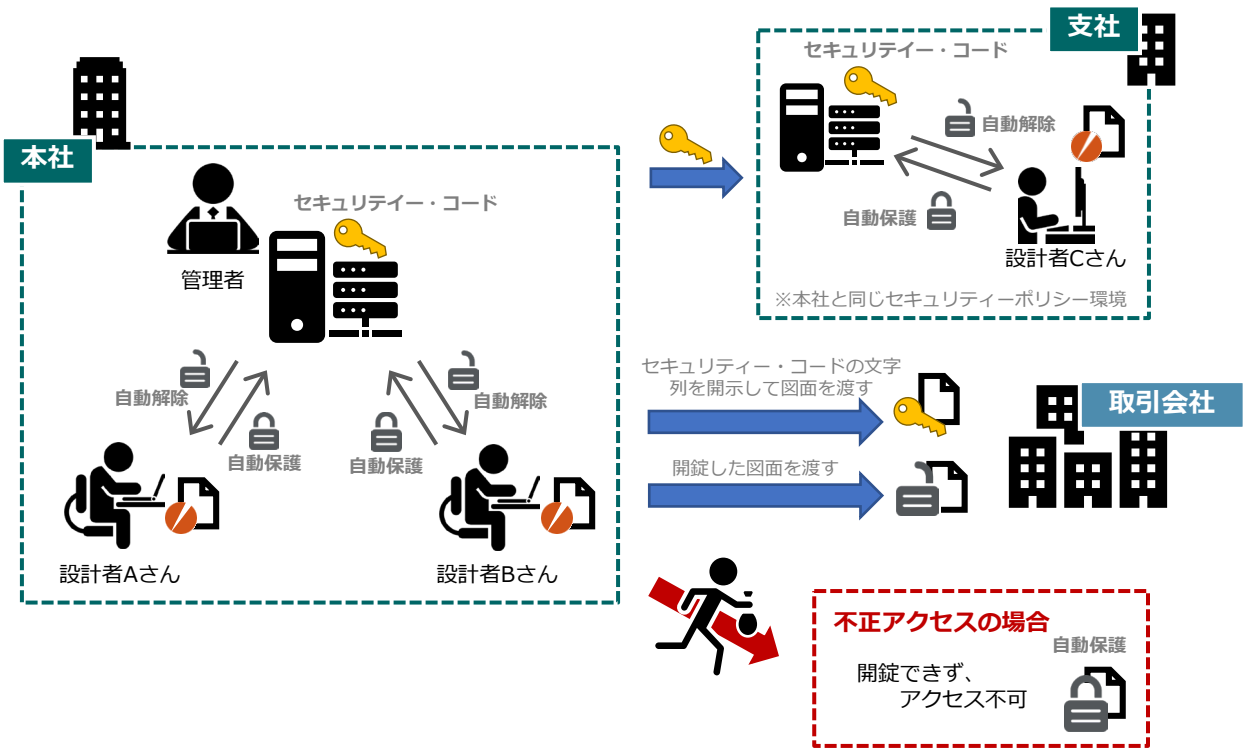
◆ 図面の大量複写・変換・出力の抑制機能

図面を複写、変換、出力するとき、一度に扱える図面数をユーザーごとに設定できます。
ユーザーIDごとにアクションログを残すことができます。



2）図面の機密性を高める機能《セキュリティー・コード機能》

図面に暗号化された文字コードを埋め込むことによって、不正アクセスやデータの改ざんを防ぎます。この暗号化された文字コードを「セキュリティー・コード」といいます。
セキュリティー・コードが設定されている環境下で図面をファイルすると、セキュリティー・コードが自動的に図面内に格納されます。
同じセキュリティー・コードが設定された環境下では、利用者はセキュリティー・コードを意識せずに図面を扱えます。しかし、セキュリティー・コードが設定されていない環境または セキュリティー・コードが異なる環境下では図面にアクセスした際、セキュリティー・コードの入力が要求されます。
したがって、万が一盗難や過失によって図面が流出した場合でも、部外者は図面を開くことができません。これにより図面の機密性は保たれます。
環境が異なる関連会社、あるいは取引会社などに図面を譲渡する際は、セキュリティー・コードの開示、または事前のセキュリティー・コードの解除が必要となります。



従来のパスワード機能に類似していますが、一般利用者が各自で設定する図面のパスワードとは異なり、利用者がパスワードを設定する必要がないので利用者の負担になりません。
セキュリティー・コードは管理者のみが認知するよう運用することによって、セキュリティーがより強固になります。

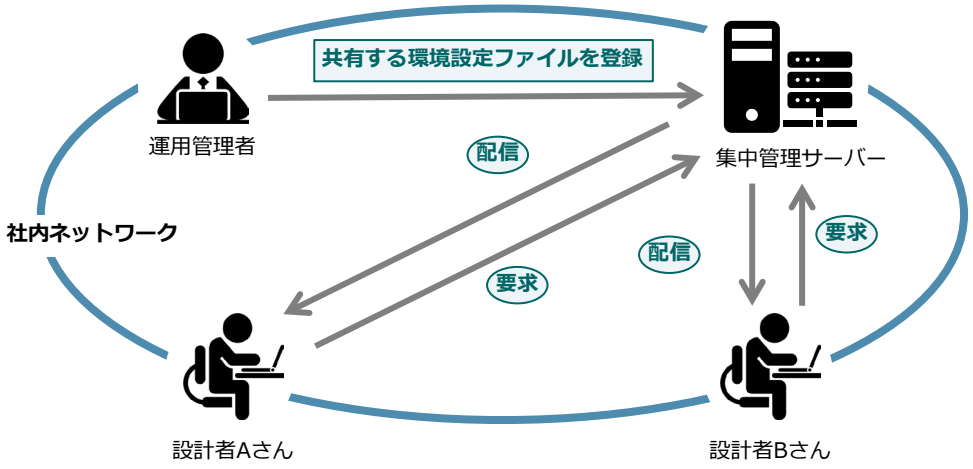
MICRO CADAM Helixセキュリティー機能は、次に説明する「集中管理機能」を利用することで、さらに強固に効率よく運用していただけます。

MICRO CADAM Helix の集中管理機能

「集中管理機能」は、セキュリティー環境を実現する基本の仕組みです。
運用管理者がMICRO CADAM Helixの各種設定を集中して管理することで各クライアントの環境を管理し、運用システム内で統一された環境を保持することをいいます。
集中管理機能を利用したセキュリティー設定により、一般利用者が意識することなく統一されたセキュリティー環境でMICRO CADAM Helix を利用できます。
集中管理下では各種の環境設定ファイルを運用管理者のみが管理するため、一般利用者による勝手な書き換えの防止につながります。

また、集中管理機能を利用することで、社内の各端末の設定を統一でき、運用管理にかかるコストを低減できます。
利用環境に変更が発生すると、各クライアントに環境設定ファイルなどを複写・転送してクライアントの環境を変更する必要がありますが、集中管理機能を利用しない環境下では運用管理者は環境設定ファイルなどを複写・転送して、クライアントごとの環境を変更する必要があり、多くの台数を個々に設定する場合には多大な時間と労力が必要となります。

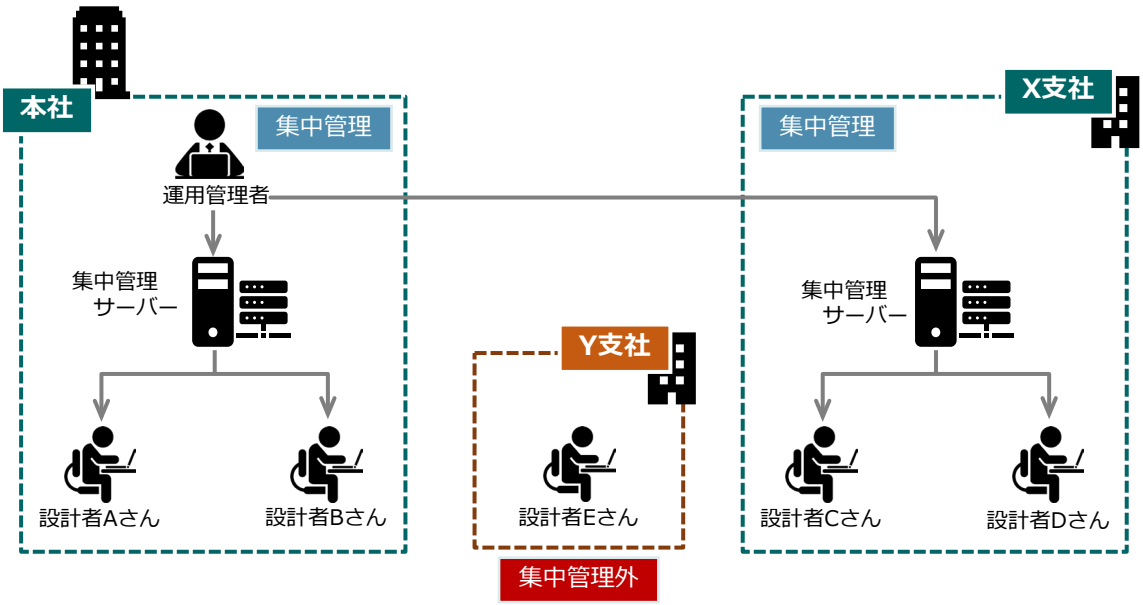
一方、集中管理機能を利用している環境下では、運用管理者が集中管理サーバーに登録した各種の環境設定ファイルを各クライアントに自動で配信するため、一般利用者は常に最新の環境でMICRO CADAM Helixを利用でき、運用管理者はクライアントごとの面倒な利用環境の新設や改変から解放されます。



要求：MICRO CADAM Helix 起動時にシステムが自動的に環境設定ファイルを要求
配信：要求に応じてクライアントに環境設定ファイルを配信

運用管理者が集中管理サーバーに各種の環境設定ファイルを登録すると、同じ集中管理下にある環境では自動的に更新されます。

集中管理機能を利用し設計環境を一元管理することで、統一されたセキュリティー環境の構築が実現できます。



※ 上図では、本社の運用管理者が環境設定ファイルを変更すると、集中管理下にある本社の一般利用者およびＸ支社の一般利用者の環境も更新されますが、集中管理下ではないＹ支社では環境は更新されないことを示しています。
Y支社を集中管理下に含めることで全社の環境を一元管理できます。

このように、MICRO CADAM Helixのセキュリティー機能と集中管理機能により、強固なセキュリティー環境を構築できます。

なお、本資料にてご紹介したMICRO CADAM Helix の２つのセキュリティー機能、《図面流出防止機能》と《セキュリティー・コード機能》は標準機能です。
設定するだけでどなたでも利用できますので、ぜひこの機能を有効に活用して、より良い設計環境を構築してください。

また、お客様によりどのようなセキュリティーを実現されたいかはさまざまです。
個別にカスタマイズ（有償サービス）をした提供事例もございますので、お気軽にご相談ください。

CAD SOLUTIONS

開発元・お問い合わせ先
株式会社CAD SOLUTIONS
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-14-6F

https://www.cad-solutions.co.jp **mccc@cad-solutions.co.jp**